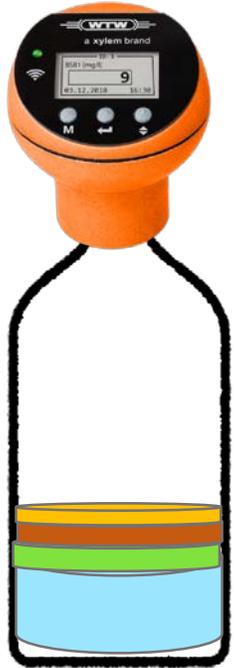


～Nakajima, Jun, et al (Vietnam - Japan University等) *の研究～

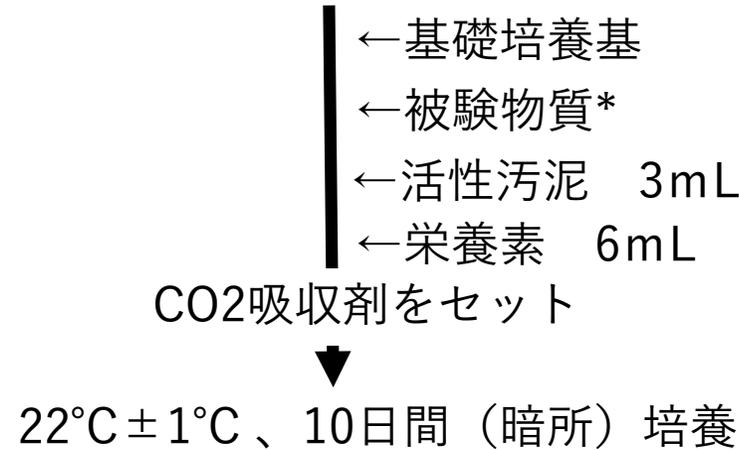
【研究概要 (Abstract 抜粋)】

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩 (LAS) と蛍光増白剤 (FWA) を含む洗剤の消費がアジア諸国で急速に増加している。インド、日本、インドネシア、およびタイで市販されているいくつかの洗濯用洗剤および食器用洗剤の好気性生分解性を呼吸測定酸素摂取法で調べた。生分解性試験後、インドおよび日本の洗剤は、LAS除去率95～100%を示した。FWAの除去率は12.4～78.8%であった。酸素摂取曲線から様々な有機化合物の存在が示唆され、今回試験した洗剤間でみられる多様な生分解性結果は、洗剤に存在する様々な成分の影響を示唆された。



- 基礎培養基
- 被験物質
- 活性汚泥
- 栄養素

生分解性試験は、OECD301Fに従って行われた。



*洗剤 (サンプル) 計17種類

- インド製：6種類
- インドネシア製：5種類
- 日本製：3種類
- タイ製：3種類

生分解性試験の前後で各物質を下記試験法で測定し、除去率を算出し生分解性を評価

LAS：HPLC分析、FWA：3次元蛍光分析、有機物：TOC分析

* KATAM, Keerthi, et al. Study of aerobic biodegradation of surfactants and fluorescent whitening agents in detergents of a few selected Asian countries (India, Indonesia, Japan, and Thailand). *Journal of Water and Environment Technology*, 2018, 16.1: 18-29.